平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：将来への備え

政策：「健康・福祉」を増進します

施策：医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
A201	在宅医療介護連携推進事業	長寿課 （地域医療推進室）	介護保険特別会計 4-1-2（包括的支援事業費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
<p>疾病を抱えても、市民誰もが自宅等の住み慣れた生活の場で療養しながら、自分らしい生活を続けられるためには、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護サービスを提供することが必要である。このため、市が中心になって、医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制の構築を図ることで、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するもの。</p>		<p>平成25年度から医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護サービス事業者協議会、市内の病院、市で構成する「加賀市在宅医療連携推進協議会」を組織し、在宅医療の推進と医療・介護の連携推進の取組を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加賀市医療センターの開院に併せ、地域連携部門に「医療と介護の連携に関する相談窓口」を設置し、在宅医療コーディネーターを配置して、専門職からの在宅医療にかかる相談を受け付け、サポートする体制とすることとした。 ・市民向けに在宅医療の周知啓発を実施 ・ICTを用いた医療と介護の連携体制の導入、実証について、医師会等と調整を進めている。 	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
227		適切	
内部評価		<p>・ICTの更なる活用により、在宅医療・介護の一層の連携強化を図ること。</p>	
有効性	高い		
費用対効果	普通		
成果	継続		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	3,827	<p>在宅医療・介護連携推進事業は、平成27年度から介護保険の地域支援事業に位置づけられてところであり、引き続き地域の医療・介護関係機関の連携体制の構築を推進する。</p> <p>加賀市医療センターの「地域連携センター つむぎ」を在宅医療・介護連携の相談支援窓口とし、在宅療養患者に関わる介護系職種を医療面でサポートするため、病院の看護師を在宅医療コーディネーターとして配置した。コーディネーターに寄せられた相談事例からも介護と医療との連携の課題を抽出し、関係者と協議する等対応策を進める。</p>
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：将来への備え

政策：「健康・福祉」を増進します

施策：医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
A202	医師招へい推進策事業	企画経営課	病院事業会計 1-1-6（研究研修費）他
事業目的		平成27年度の実施状況	
<p>地域に必要とされる医療を安定的に提供するとともに、医療の質の向上を図るため、医師の招へいを長期的・継続的に実施する。また、働きやすく働きがいのある職場環境づくりへの取組みにより、継続した人材確保の実現を目指す。将来的には43名以上を目指す。</p>		<p>医師の派遣を受けている金沢大学・金沢医科大学・福井大学医局との関係強化のため、各科教授等との面談を年間を通じて実施した。また、加賀市にゆかりのある医師への訪問を実施した。その他として、市民の医療や病院に対する理解を得るための出前講座（まちあい室講座）の開催や、医学生が卒業後の臨床研修を受ける際に研修先を選んでいただけるよう医学生の受け入れを行った。</p> <p>なお、これら以外にも、医師の事務作業を軽減するための医師事務作業補助職員の増員を行う等、医師の勤務環境の改善を行った。</p> <p>さらに、学べる環境づくりのため、WEBでの医学書検索・閲覧環境を強化している。</p>	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
2,085		適切	
内部評価			
有効性	高い	・ICTの更なる活用により、在宅医療・介護の一層の連携強化を図ること。	
費用対効果	高い		
成果	拡充		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	7,120	基幹型の臨床研修指定病院を目指すための体制づくりとして、金沢大学病院をはじめ、関連大学との連携強化、地域外から医師を招へいする為の活動費用、勉強会や講演会の費用を計上する。 また、臨床研修医の宿舍費や医学生の研修期間中の宿泊費の補助、病院見学会の開催費用、及び、医師の研究研修の充実として研修旅費の補助やweb上での医学論文参照サービスの利用料を計上する。
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：将来への備え

政策：「健康・福祉」を増進します

施策：医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
A206	地域医療推進事業	長寿課 （地域医療推進室）	介護保険特別会計 4-1-1（介護予防事業費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
<p>地域の医療に関する市民・医療機関・行政の相互理解・連携を促進し市民が安心して暮らせる地域医療体制の充実を図る。</p>		<p>加賀市医療提供体制基本構想の推進に係る調査検討と地域医療の充実を図るため、地域医療審議会を開催した。審議会の意見や加賀市統合新病院建設計画検証委員会の答申を踏まえ、山中温泉医療センターの施設活用策及び医療提供体制が急激に変化する山中温泉地域の住民の不安の緩和策として、診療所を設置することとし、診療所の改修の基本・実施設計、4月開院に必要な最低限の改修工事を行った。また指定管理者を地域医療振興協会とした。</p> <p>救急医療については、市内の救急医療の関係者で協議するため、救急医療懇話会を実施し、継続的に開催することとした。</p> <p>市民が主役となって医療を守る取組を進めていくために、市民向けの講演会、ワークショップを開催した。</p>	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
24,757		適切	
内部評価		ICTの更なる活用により、在宅医療・介護の一層の連携強化を図ること。	
有効性	高い		
費用対効果	普通		
成果	継続		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	2,696	<p>住民活動としての地域医療を守る取組が広がるよう、座談会等の市民啓発や全国研修会への参加を通じ、将来的な住民活動団体づくりを目指す。</p> <p>関係者による救急医療懇話会の開催などにより、救急医療体制の維持向上を図る。</p> <p>また、（仮称）山中温泉ぬくもりプロジェクトとして、山中温泉ぬくもり診療所のお風呂（源泉かけ流し）や温泉プールなどを活用し、健診や水中運動を組み合わせ健康増進を図る。</p> <p>山中温泉ぬくもり診療所の整備が完了したことにより事業費が減額となる。</p>
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：将来への備え

政策：「健康・福祉」を増進します

施策：高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
A301	介護予防・日常生活支援総合事業 (介護予防・生活支援サービス事業)	長寿課 (地域包括支援センター)	介護保険特別会計 4-1-1 (介護予防事業費)
事業目的		平成27年度の実施状況	
<p>介護予防・日常生活支援総合事業（以下総合事業）を国が早期移行をすすめたこともあり、予定していた平成28年4月より1か月早めて、3月から開始した。事業開始にあたり総合事業検討会を実施し、加賀市での総合事業の在り方の骨子を定め、サービスの在り方、具体的な移行についても検討した。また、開始前に、サービス利用者、介護保険事業所、市民に対し周知した。従来の介護予防通所介護、介護予防訪問介護をそれぞれ通所型サービス、訪問型サービスとして内容を変えずに実施することで、利用者が混乱せずに利用できる体制で実施した。サービス利用時のマネジメントについては、本人が望む暮らしの継続のためのあり方を、支援を担当している職員だけでなく、外部有識者も交えて検討する体制を試行した。</p>		<p>介護予防・日常生活支援総合事業（以下総合事業）を国が早期移行をすすめたこともあり、予定していた平成28年4月より1か月早めて、3月から開始した。事業開始にあたり総合事業検討会を実施し、加賀市での総合事業の在り方の骨子を定め、サービスの在り方、具体的な移行についても検討した。また、開始前に、サービス利用者、介護保険事業所、市民に対し周知した。従来の介護予防通所介護、介護予防訪問介護をそれぞれ通所型サービス、訪問型サービスとして内容を変えずに実施することで、利用者が混乱せずに利用できる体制で実施した。サービス利用時のマネジメントについては、本人が望む暮らしの継続のためのあり方を、支援を担当している職員だけでなく、外部有識者も交えて検討する体制を試行した。</p>	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
2,830		適切	
内部評価		<p>・介護予防・日常生活支援総合事業（生活支援サービス事業等）の内容について、更なる市民への理解促進を図ること。</p>	
有効性	普通		
費用対効果	普通		
成果	拡充		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	206,786	<p>従来と同等のサービスとして実施している現行型サービスは、質の見直しを行いながら継続していく。新たに実施した家事支援サービス事業は、利用者が徐々に増えてきている。</p> <p>平成29年度は、さらに利用者にとって必要なサービスを効果的に提供できるようにするため、多様なサービスの実施を予定しており検討を進めている。</p> <p>また、ケアマネジメントの質の向上も継続し、サービスのみで本人を支えるのではなく、地域で支えていくことを、地域で考えられるような仕組みについて地区こころまちセンター等と協力し、実施していく。</p> <p>円滑な実施のため、引き続き市民や事業所に対し効果的な周知を図る。</p>
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系： 将来への備え

政策： 「健康・福祉」を増進します

施策： 高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
A307	地域介護予防支援委託事業	長寿課 (地域包括支援センター)	介護保険特別会計 4-1-1 (介護予防事業費)
事業目的		平成27年度の実施状況	
<p>地域住民の参加と協力のもと、家庭に閉じこもりがちな高齢者などに対して、各種サービスを提供することにより、孤立感の解消や、寝たきり、認知症予防を推進し、高齢者の自立生活の継続を図ることを目的とする。</p> <p>「寝たきり・認知症予防」「自立生活の維持」(介護予防)の活動を通し、「地域でのより良い関係作り、隣近所による支え合い、見守り」の相互支援も目的として実施する。</p>		<p>社会福祉協議会へ委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体による地域おたっしやサークル（介護予防型・サロン型・支援型・事業所協同型）への活動運営助成 ・地域おたっしやサークル団体への無料定例講師派遣（介護予防に資する内容を含め年10回を上限） ・地域おたっしやサークルリーダー連絡会及びリーダー研修会 ・住民主体を主軸とし、地域に根ざした切れ目ない活動を展開できるような「活動協力費」を全サークル対象に運営助成。 ・支援が必要な地域おたっしやサークルへ指定をうけた介護保険事業所が介入する強化事業の実施。 ・新たにサークルを立ち上げたい町に対し立ち上げ支援として、介護予防教室の実施。 	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
18,290		適切	
内部評価		該当するコメントなし	
有効性	普通		
費用対効果	普通		
成果	継続		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	20,459	<p>事業内容を基本的に継続し、サークルリーダー（ボランティア）が中心となって高齢者が身近な公民館単位で予防活動が継続的に行なえるよう、運営助成を引き続き行い、サークルの継続した運営を支えていく。</p> <p>市内高齢者の10人に1人が、地域おたっしやサークル・いきいきサロン等に参加しているが、様々な機会を通じて新たな介護予防拠点の場づくりを促し、新規設置箇所数を増やしていく。</p> <p>サークル設置数の増加をより促進するため、事業所協同型の運営費、及び、積極的に周知啓発を図るための「活動冊子」作成費を増額する。</p>
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：将来への備え

政策：「健康・福祉」を増進します

施策：高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
A308	高齢者ひとり暮らし ふれあいの集い事業	長寿課 (地域包括支援センター)	介護保険特別会計 4-1-3 (任意事業費)
事業目的		平成27年度の実施状況	
<p>地区民生委員児童委員及び区長等の地域住民の協力のもとに、孤立解消及び閉じこもり予防としてふれあいの集いを開催し、高齢者の福祉の向上に資することを目的とする。</p> <p>また、地域でのひとり暮らし高齢者サポート体制の構築を図る。地域の高齢者の状況を把握している民生委員だからこそ、その地域の実情にあった、効果的な集いの開催ができると考えられ、この集いをきっかけに訪問につながり、生活状況の実態から生活課題の把握をし、必要な支援につなげることができる。</p>		<p>9地区民生委員児童委員協議会が主体となって、地区会館及び公共施設等この事業を適切に実施できると認められる施設において、教養講座（介護予防、認知症予防、健康づくり等のテーマ）、高齢者に適した軽体操等の実技、栄養改善に資する食提供、座談会など本事業の目的に即した内容での集いを地区協議会で開催している。</p> <p>ひとり暮らし高齢者と、民生委員や地域住民が顔見知りになるきっかけや、交流する場になっている。</p>	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
830		適切	
内部評価		該当するコメントなし	
有効性	普通		
費用対効果	普通		
成果	継続		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	830	<p>加賀市民生委員児童委員協議会に委託し、地区の状況に応じて実施しており、地区の取り組みとして根付いていることから、引き続き同協議会に委託し、地域における日常の見守りと孤立解消及び閉じこもり予防につなげ、ひとり暮らし高齢者サポート体制の構築を図る。</p> <p>加賀市地区民生児童委員協議会単位（9地区）で、年1回の以上の開催とし、孤立感解消の観点から、地区によっては開催回数を増やすことに努める。委託料は9地区のひとり暮らし高齢者数で按分する。</p>
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

政 策 ： 健康・福祉

施 策 ： 健康な心と体の育成

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
C204	こころの健康づくり対策事業	健康課	一般会計 4-1-2（健康管理推進費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
<p>「こころの健康づくり」に関する知識の普及を図り、市の自殺死亡率の減少達成値を平成17年自殺死亡率30.9（人口10万対：衛生統計年報）と比べ、平成28年までには20%以上減らすことを目指すため、こころの健康づくりとその対応に関する啓発活動を行ない、心の病気に関して理解、対応できる市民を増やす。</p>		<p>普及啓発として、9月の自殺予防週間に合わせ、講演会の開催や街頭キャンペーンにて、こころの健康に関する相談窓口の紹介や理解を深めるためのリーフレットや啓発グッズを配布した。さらに強化月間の3月には、広報で相談窓口やゲートキーパーの役割について周知を図った。また、自殺予防に関する知識を深め、傾聴などの行動ができる市民を増やすためのゲートキーパー出前講座を地域の団体等に実施している。</p> <p>相談体制としては、随時、保健師によるこころの健康づくり相談を開設しており、広報で毎月掲載し、周知を図っている。また、必要な方には臨床心理士による専門相談や、専門機関に繋げるなどの体制をとっている。</p>	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
137		適切	
内部評価		<p>・健康な心と体の育成の取組体制において、庁内の横の連携を図ること。</p>	
有効性	普通		
費用対効果	普通		
成果	継続		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	400	<p>加賀市こころの健康づくり相談により、心に悩みを持った市民へ専門的な対応や支援を行う。また「つなぐシート」を活用し、庁舎内、関係機関と連携し支援できる体制を整え、多様化する市民のこころの問題に対応する。</p> <p>ゲートキーパー講座の実施や自殺予防週間街頭キャンペーン、成人式等に心の健康づくりに関する知識の啓発や相談窓口の周知を地域に普及させることで、市民ひとり1人が心の健康に関心を持ち、身近な人の心の問題に気づき、適切な対応をとれる市民を増やす。</p> <p>平成29年夏に国より自殺対策計画のガイドラインが示される予定であり、今後、計画策定にあたり、自殺対策推進のための関係機関との検討会等を行うため、事業費を増額する。</p>
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：将来への備え

政策：「都市基盤」を創造します

施策：地域間ネットワークの整備を進めます

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
B201	都市計画道路整備事業	都市計画課	一般会計 8-5-2（街路事業費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
<p>円滑な都市交通を確保し、良好な都市環境を形成するため、都市計画道路の整備を計画的に推進する。</p>		<p>市事業の加美谷線は、道路改良工事及び舗装工事を完了した。 県事業の山代栗津線及び温泉中央南線は、用地買収を行った。また、事業推進を目的とする沿道住民等から組織される協議会において県と市が共同でまちづくりへの助言を行っている。</p>	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
201,192		適切	
内部評価			
有効性	高い	<p>・道路整備における費用対効果については、交通量調査等によりその効果を判断すること。また、老朽化対策も同様に、その有用性と経済効果を考慮して進めること。</p>	
費用対効果	高い		
成果	継続		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	193,500	<p>市事業の合河片山津線（片山津町～片山津温泉1区地内）は、狹隘クランク部の改良とバイパス新設を含む540m区間の改良整備に向けて、地質調査、実施設計、用地測量、建物補償調査、用地買収及び建物補償を実施する。 県事業の山代栗津線（山代温泉19区地内）は用地買収、建物補償を行い、温泉中央南線（山中温泉こおろぎ町地内）は工事を実施する。</p>
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：将来への備え
 政策：「都市基盤」を創造します
 施策：地域間ネットワークの整備を進めます

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	担当課	科目
B208	加賀温泉駅前活性化対策事業	都市計画課	一般会計 8-5-1（都市計画総務費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
加賀温泉駅活性化対策事業に関しては、平成34年度末の北陸新幹線金沢敦賀間開業に向け、加賀温泉駅及び駅前広場における賑わいを創出することにより、加賀温泉駅周辺そして加賀市の活性化に寄与することを目的として駅舎及び駅周辺の整備を行う。		加賀温泉駅前活性化対策事業においては、北陸新幹線加賀温泉駅駅舎デザインコンセプト検討委員会を4回開催し、北陸新幹線加賀温泉駅舎デザインコンセプトを策定した。	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
3,627		適切	
内部評価		・新幹線加賀温泉駅や広場等の整備については、観光面だけでなく、市民の意見も十分に取り入れ、その利便性の向上を図ること。	
有効性	高い		
費用対効果	高い		
成果	継続		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	4,845	平成29年度は鉄道・運輸機構から新幹線加賀温泉駅舎のデザイン案が複数提示される。加賀市の玄関口としてふさわしい駅舎となるよう、そのデザイン案の決定には議会、検討委員会はもちろん広く市民からの意見を収集することが重要であり、市民全体を対象とした公聴会や各地区での説明会を開催する。また、引きつづき検討委員会、専門部会を開催し駅舎や今後の都市施設についての具体的内容について検討、協議する。 在来線駅舎が平成29年春から仮駅舎での運営となることによる、視覚障害者の混乱を避け、円滑な移動を促すため音声案内装置を設置する。
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：成長戦略

政策：「観光」を推進します

施策：「共創」環境の構築を進めます

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
F202	三温泉観光誘客助成事業	観光交流課	一般会計 7-2-2（観光振興費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
<p>三温泉の観光関係団体が実施する観光情報の発信や宣伝事業、北陸新幹線金沢開業を見据えたソフト事業、鉱泉の維持管理や新規掘削する事業を支援することにより、それぞれの温泉地が共に競い合うアジアから選ばれる温泉競創地を実現するための環境づくり及び観光の振興を図る。</p>		<p>三温泉観光協会が実施した、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ウェブ等を使った広告宣伝、観光宣伝資料の作成、都市圏への出向宣伝、ホームページを活用した情報発信のほか、加賀温泉郷を総合的にPRするための事業費に対して補助を行った。また、北陸新幹線金沢開業戦略事業として、山代温泉観光協会での2次交通PR資料の作成、山中温泉観光協会での鶴仙溪川床の魅力発信、片山津温泉観光協会でのテレビメディアを活用した情報発信・イベントの実施などの事業費に対して補助を行った。</p> <p>鉱泉源保護施設助成事業として、三温泉（柴山温泉含む）の源泉管理者が行う、湯湯設備に係る湯量計測器の維持管理、ポンプ等の修理代、電気料等の経費や、山代温泉での鉱泉源の新規掘削の工事費に対して補助を行った。</p>	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
54,500		適切	
内部評価		<ul style="list-style-type: none"> ・鉱泉源整備の助成にあたっては、それぞれの温泉地の特色や状況を十分に踏まえ、支援を行うこと。 ・観光地の景観整備については、環境面への配慮をしながら、「点」の整備ではなく、散策できるような「線・面」での整備を意識すること。 ・加賀市の多種多様な魅力については、三温泉の特色を活かしつつ、加賀温泉郷全体としても情報発信していくこと。 	
有効性	高い		
費用対効果	普通		
成果	拡充		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度事業概要	42,000	<p>三温泉地が、それぞれの個性を活かしながら魅力ある温泉地を目指し、共に競い合うことでアジアから選ばれる温泉共創地を実現し、加賀市の観光振興を図る。温泉観光地として最も重要と言える「源泉」について、適正に管理供給施設への安定供給を図ることで顧客満足度を高め、誘客促進を図る。</p> <p>平成27年度は鉱泉源整備のため限定的に18,500千円を助成した。平成28年度以降はこれを除き、平成29年度は魅力創出に向けた事業に対する助成金を3,000千円追加助成する。</p>
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：成長戦略

政策：「観光」を推進します

施策：「共創」環境の構築を進めます

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
F203	芸妓活動支援事業	観光交流課	一般会計 7-2-2（観光振興費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
<p>後継者の減少により、山中節をはじめとする伝統芸能および温泉地の個性でもある芸妓文化の伝承が危機に瀕している。</p> <p>郷土の芸能文化を後世へと継承するため、芸妓を目指す若手後継者の活動を支援するとともに芸妓団体の活動支援を行う。</p>		<p>若手芸妓1名（小乃葉）には、芸の習得や舞台等への出演に要する活動費用を1か月あたり50,000円（年間60万円）を上限に支援を行った。</p> <p>また、伝統芸能と芸妓文化を継承するために、芸妓団体の活動費用に対し支援を行った。</p>	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
1,500		適切	
内部評価		<ul style="list-style-type: none"> ・芸妓文化は歴史があるものであり、金銭面の支援だけではなく、文化として継承できるような支援策を検討すること。 ・加賀市の多種多様な魅力については、三温泉の特色を活かしつつ、加賀温泉郷全体としても情報発信していくこと。 	
有効性	高い		
費用対効果	高い		
成果	拡充		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	1,800	<p>加賀市に残る芸妓文化の継承と後継者の育成を支援し、伝統芸能を将来に引き継ぐことで、地域の魅力を高めるとともに、加賀温泉郷のブランド力を高める。加賀市の伝統芸能である芸妓の伝統技術を継承するとともに、若手後継者を育成するため、技術の向上や芸妓活動等に係る費用の一部を助成する。</p> <p>芸妓活動の活性化を図るためのPRを展開しながら、平成28年度からは助成額を300千円増額し、後継者の育成強化を図っている。</p>
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：成長戦略

政策：「観光」を推進します

施策：「共創」環境の構築を進めます

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
F204	山代温泉観光地景観保全助成事業	観光交流課	一般会計 7-2-2（観光振興費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
山代温泉の環境や景観を整備・保全することにより、観光客等が快適な散策や休憩ができる環境づくりと地域の環境美化の向上を図る。		萬松園、足湯、大堰宮公園園路、薬王院周辺及び園路、服部神社、薬王院温泉寺、真菰池休憩所、歌碑、女男生水周辺、県道小松山中線、ミニパーク内モニュメント、各種ライトアップ設備を対象施設として、除草、剪定、清掃、維持管理などの山代温泉観光協会が行う環境整備や景観保全事業の経費について、一部助成する。	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
2,810		適切	
内部評価		・観光地の景観整備については、環境面への配慮をしながら、「点」の整備ではなく、散策できるような「線・面」での整備を意識すること。 ・加賀市の多種多様な魅力については、三温泉の特色を活かしつつ、加賀温泉郷全体としても情報発信していくこと。	
有効性	普通		
費用対効果	普通		
成果	継続		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	2,810	観光地の景観を整備・保全し、快適な空間を提供することにより、交流人口の拡大を図ることを目的とする。環境・景観整備により、観光地における快適な空間の提供を行うことで、観光客等が快適に散策や休憩ができる環境を整え、また地域の環境美化の向上を図る。 山代温泉における地域の取り組みを支援するため、これまでと同様に助成を行う。
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：成長戦略
 政策：「観光」を推進します
 施策：自治体外交を進めます

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
F302	海外都市交流事業	観光交流課	一般会計 2-1-14（都市親善交流費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
海外都市との友好関係をベースとした交流により、交流人口の拡大、インバウンドの推進、次世代の国際力の育成、地域の活性化を推進する。		台湾との交流では、4月に加賀温泉郷マラソンに参加するため高雄市から12名のランナーが参加。6月には友好都市台南市より市長及び観光関係者等26名が来市し観光地の視察や市内団体との交流を行った。10月には台湾まつりin加賀市として台北市立国楽団（伝統楽団）公演の開催とともに、台湾グルメ屋台村を出店し、市民との交流を図った。1月には桃園市及び台中市を訪問し、友好交流の推進について協議を行った。2月には台湾関係者及び育桜会約50名が来市し、桜の苗木50本を市へ寄贈し合同で柴山潟湖畔へ植樹を行い、市民との交流を図った。 シンガポールとの交流では、6月にSST中学校を訪問し、教育交流の実現に向け協議を行った。また、2月にはシンガポール最大の国際的祭典であるチンゲイパレードに山代大田楽が参加し、加賀温泉郷のPRを行った。	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
8,584		適切	
内部評価		・外国人の受け入れ環境の整備をさらに進め、広い視野からの海外誘客を図ること。 ・市民の理解促進を図るために、「インバウンド」等の用語については、分かりやすい言葉を用いこと。 ・民間レベルでの更なる交流促進を図ること。 ・パンフレット等の作成については、加賀市の魅力が伝わるように、市外からの観光客はもとより外国人の目線による検証も実施すること。	
有効性	高い		
費用対効果	高い		
成果	拡充		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	10,000	海外都市との友好交流をベースとした観光分野での連携により、交流人口の拡大、インバウンドを推進し、地域の活性化を図る。 台湾の台南市や高雄市、桃園市とは既に都市交流の提携を結び交流の基礎は出来ており、今後更なる交流を深めると共に、商工観光などの交流にその効果を広めたい。また、シンガポールは東南アジア諸国においては強い影響力があり、今後とも継続的に交流を進める必要がある。さらに、他の海外都市との交流拡大を図っていく。これらの交流事業を進め、加賀温泉郷への誘客に繋げる。
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：成長戦略

政策：「観光」を推進します

施策：自治体外交を進めます

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
F303	インバウンド戦略事業	観光交流課	一般会計 7-2-2（観光振興費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
外国人観光客が訪れやすい観光地づくりを行うとともに、海外に向けて積極的なPRを図ることで海外からの誘客を図り、温泉地の活性化に繋げる。		金沢加賀工芸展（台南新光三越物産展）において市内事業者が出展し加賀市の観光PRを実施した。また、5月には高雄国際トラベルフェア、12月には大台南国際トラベルフェアに加賀温泉郷ブースを出展し現地の方々にPRを行った。	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
8,200		適切	
内部評価		<ul style="list-style-type: none"> 外国人の受け入れ環境の整備をさらに進め、広い視野からの海外誘客を図ること。 市民の理解促進を図るために、「インバウンド」等の用語については、分かりやすい言葉を用いこと。 民間レベルでの更なる交流促進を図ること。 パンフレット等の作成については、加賀市の魅力が伝わるように、市外からの観光客はもとより外国人の目線による検証も実施すること。 	
有効性	高い		
費用対効果	高い		
成果	拡充		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	18,000	海外からの集客（インバウンド観光）を推進するため、台湾などの旅行会社を訪問してのプロモーション活動や旅行博への出展、パンフレット等による情報発信、雑誌やネットなどのメディアへの広告出稿など、加賀温泉郷の魅力を伝えるための戦略的な事業を展開する。また、公衆無線LANなど外国人観光客の受け入れ体制の整備を進める。
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：成長戦略

政策：「観光」を推進します

施策：自治体外交を進めます

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
F307	国際力のある地域づくり事業	観光交流課	一般会計 2-1-14（都市親善交流費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
定住外国人や外国人観光客の増加など、地域に広がる国際化の需要に幅広く対応し、国際力のある地域づくりを目指す。		市の海外都市交流事業やインバウンド推進事業に係る通訳支援や交流に係る支援を行ったほか、増加する外国人労働者等への日本語学習機会の提供として、日本語教室を開催。昨年度養成した新規ボランティアを活用することで、より多くの学習機会の提供を図った。また、市民の国際理解を推進する目的で、外国語教室（英語、韓国語）を引き続き通年にて開講した。 また、石川県国際観光課と連携し、海外メディアの視察・取材の受け入れや国際修学旅行による市内の小中学校での交流の受け入れ等、国際交流、インバウンド誘客に係る支援を行った。	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
2,834		適切	
内部評価		<ul style="list-style-type: none"> 外国人の受け入れ環境の整備をさらに進め、広い視野からの海外誘客を図ること。 市民の理解促進を図るために、「インバウンド」等の用語については、分かりやすい言葉を用いこと。 民間レベルでの更なる交流促進を図ること。 パンフレット等の作成については、加賀市の魅力が伝わるように、市外からの観光客はもとより外国人の目線による検証も実施すること。 	
有効性	高い		
費用対効果	高い		
成果	拡充		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	900	在住外国人への支援として、外国人が利用しやすい行政サービスの整備や日本語、日本文化の学習機会の提供など、地域で共生しながら、安心して生活するための支援を行う。 また、今後は外国人観光客の増加や国際化の進展にともない、海外との交流機会の増加が見込まれることから、外国語教室などを通じた国際理解の推進や観光誘客にもつながる海外関係者の訪問受け入れなどを行い、国際化への環境づくりを進める。
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：成長戦略

政策：「自然環境」を守ります

施策：「ガーデン・シティ構想」を進めます（再掲）

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
G101	ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業	生活安全課	一般会計 4-2-2（環境美化費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
<p>市・市民・事業者が一体となって、ごみのポイ捨て、飼い犬・飼い猫のふんの放置、路上喫煙のない、観光都市加賀市の美しいまちづくりを推進し、良好な生活環境を確保する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・市民等への意識啓発を目的として、新たに10月を「ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進月間」と定めた。 ・10月に「ポイ捨て防止」の街頭啓発（市内中学校の協力によりスーパーマーケットで啓発ティッシュと花の種を配布）を実施した。 ・条例に基づく「ポイ捨て等防止重点区域」に指定している加賀温泉駅前周辺の清掃を市民ボランティアにより10月25日（日）に実施した。 ・（株）まちづくり加賀に依頼し、新たにキャンパス内で「ポイ捨て防止」の音声アナウンスを実施していただくこととした。 ・加賀温泉駅前周辺と市内三温泉の総湯周辺における啓発、調査、ごみ回収業務をシルバー人材センターに委託し、年間を通じて実施した。 	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
301		適切	
内部評価		該当するコメントなし	
有効性	普通		
費用対効果	普通		
成果	継続		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度事業概要	797	「ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進月間」である10月を中心に、市民等のボランティアによる加賀温泉駅周辺清掃、市内中学生による街頭啓発キャンペーンを実施する。また、シルバー人材センターによるポイ捨て等防止重点区域及び三温泉の調査・啓発、町内会等への「ポイ捨て禁止」看板等の貸与等の事業を展開する。「ポイ捨て禁止」看板の製作単価の上昇に伴い事業費を増額する。
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：成長戦略

政策：「自然環境」を守ります

施策：「ガーデン・シティ構想」を進めます（再掲）

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
G102	クリーンビーチインかが開催 ／海岸清掃助成事業	生活安全課	一般会計 4-2-2（環境美化費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
<p>市内の海岸において市民ボランティアによる一斉清掃を行う「クリーンビーチインかが」を開催することにより、海岸の自然環境の保全と市民のボランティア意識の高揚を図る。</p> <p>また、地区区長会等が地区内の海岸の清掃活動を行う際に補助金を交付することにより、地区住民による自主的な海岸清掃を促し、海岸の環境保全を図る。</p>		<p>「クリーンビーチインかが」については、例年6月に塩屋海岸から新保海岸までの各海岸において実施しており、平成27年度は6月21日（日）に実施し、約9.8トンのごみを回収した。</p> <p>「海岸清掃助成事業」については、塩屋町と片野町が独自に実施した海岸清掃活動において環境美化センターへごみを搬入するための車両の借上げ料を助成した。</p>	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
814		適切	
内部評価		該当するコメントなし	
有効性	高い		
費用対効果	高い		
成果	継続		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	664	<p>市内海岸の自然環境を保全するため、市民等のボランティアによる海岸の一斉清掃を実施する。</p> <p>開催予定日：平成29年6月18日（日）</p> <p>平成29年度から「海岸清掃助成事業」を別事業として切り離したことによる減額。</p>
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

基本目標： 加賀市に仕事をつくり、安定した雇用を創出する

施策： 「産業振興行動計画」の推進～スマートウェルネスKAGAの実現～

（単位：千円）

事業番号	主な事業	担当課	科目
1	「ロボレーブ国際大会」の開催	商工振興課	一般会計 7-1-2（商工振興費）
事業目的		取組状況	
<p>児童・生徒を対象とした、アメリカ発祥の国際的なロボット教育プログラムである「ロボレーブ」の国際大会を、加賀市で開催する。</p> <p>大会ではロボットプログラミングの技術を競うだけでなく、参加者間の交流会も行うことで、国際交流を促し、裾野の広い未来の産業人材の育成に寄与する。</p>		<p>平成27年4月末から5月始めに開催されたロボレーブのアメリカ大会に、市内の児童・生徒3人を派遣した。</p> <p>平成27年11月21日～23日に、加賀市スポーツセンターにて第1回目となる「加賀ロボレーブ国際大会」を開催した。</p>	
事業費		総合戦略検討会議結果	
10,992		継続	
KPI 指標	目標値	目標年月	実績値
世界大会参加者	100チーム	H28.3	89チーム
世界大会参加者	400人	H28.3	236人
<p>・今後、設定するKPIについては、継続年数や開催回数など時間軸のファクターを取り入れることも検討すること</p> <p>・ロボレーブ国際大会については、若い人が国際交流として世界に目を向ける機会となるため、今後も積極的に取り組むこと</p>			

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	10,000	<p>裾野の広い将来の産業人材育成のため、国際的なロボットプログラミングによる教育活動である、ロボレーブの国際大会を開催する。</p> <p>なお、本大会を平成29年度より開始する地方創生推進交付金を活用した市内小中学校でのプログラミング教育の成果を披露する場としても活用することで、更なる大会の発展や参加者の増加をねらう。</p> <p>（国庫補助率1/2）</p>
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：成長戦略

政策：「自然環境」を守ります

施策：ラムサール条約追加登録に向けた取り組みを進めます

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
G201	ラムサール条約登録範囲拡大事業	環境政策課	一般会計 4-2-3（環境保全対策費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
<p>国のラムサール条約湿地候補地検討会（H22）において、片野鴨池と一体的に保全していくことが望ましい周辺水田として、大聖寺川流域から柴山潟周辺地域が取り上げられた。これを受け、コハクチョウやトモエガモなどのガンカモ類の重要な飛来地や餌場となっている柴山潟及び周辺水田のラムサール条約登録に向け、柴山潟及び周辺地域の環境保全を推進する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ガンカモ類の餌場である柴山潟周辺や大聖寺下福田町等で水稻栽培を行っている農業者に対し、農薬や化学肥料を削減した環境保全型農法の技術指導を実施した。 環境省や石川県に対して、柴山潟及び周辺水田のラムサール条約湿地登録に向けた支援と冬期湛水管理（石川県の環境保全型農業直接支払交付金申請に係る地域特認取組）の要件緩和を求めた。 柴山潟および周辺水田に飛来するカモ科鳥類生息調査を実施した。 	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
9,225		適切	
内部評価		<ul style="list-style-type: none"> 市のブランドイメージを高めるため、登録湿地拡大に向け積極的に取り組むこと。 小学・中学・高校生らにも調査等の協力を得て、市民全体の取り組みとして行くことを検討すること。 	
有効性	普通		
費用対効果	普通		
成果	継続		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	523	<p>カモ類等の餌場環境である地域の水田において、環境保全型農業やふゆみずたんぼ等に取り組む農家の活動を支援し、また、その活動を広く多様な媒体で情報発信することで、餌場環境の保全に向けた市民意識を高める。</p> <p>ラムサール条約湿地登録に向けた客観的データを得るために、柴山潟及び周辺水田におけるカモ科鳥類生息調査を継続して実施する。</p>
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

体系：成長戦略

政策：「教育力」を高めます

施策：生涯学習と生涯スポーツの支援を進めます

（単位：千円）

事業番号	事務事業名	担当課	科目
H201	加賀温泉郷マラソン開催事業	スポーツ課 （マラソン開催推進室）	一般会計 10-6-5（社会体育振興費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
<p>マラソンを通じて加賀温泉郷を有する観光都市「加賀市」を全国発信する機会とするとともに、老若男女が楽しみ、交流を深めることにより、加賀市のスポーツ振興と、スポーツツーリズムとしての観光交流人口の増加を目指す。</p>		<p>スポーツ振興と同時に観光振興にも貢献するため大会名を「加賀温泉郷マラソン大会」と改名して実施したH25の2013大会は、参加者からは高い評価を得た。しかし、当初予算を大幅に超える支出や、交通渋滞の発生など多くの課題が残り、それらを精査・検証するため、H26の大会は中止となった。その後、2013大会の内容を精査・検証したうえで、コースの変更、運営体制・予算の見直しを行い、平成27年4月19日に、中止後の再開となる2015大会を開催した。また、大会終了後以降は、H28の2016大会の開催準備を行った。</p>	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
42,393		適切	
内部評価			
有効性	高い	<ul style="list-style-type: none"> マラソン以外の市民スポーツへの取り組みを検討すること 	
費用対効果	普通		
成果	継続		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	49,757	<p>前身の大会である「全国健勝マラソン日本海大会」、及び第1回目となった平成25年度以降の加賀温泉郷マラソンの実施実績及び課題を検証し、大会内容を見直しながら実施していく。</p> <p>2017大会は、暴風のため中止となった2016大会の参加者への優遇措置（参加料を半額）に伴う収入減のため、加賀温泉郷マラソン組織委員会に対する補助金を増額する。</p>
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

政 策 : 文化・教育

施 策 : 地域の文化の高揚

(単位：千円)

事業番号	事務事業名	担当課	科目
D112	文化財の適正管理	文化財保護課	一般会計 10-5-4（文化財保護費）
事業目的		平成27年度の実施状況	
貴重な財産である文化財の保護・継承を行うとともに収集保存に努め、文化の向上に役立てる。		歴史文化資産の適切な収蔵・管理を行い、貸出や閲覧などを行った。	
平成27年度 決算額		外部評価結果	
2,690		適切	
内部評価		・適正管理のみならず、市民や市外に対しての展示手法について見直しを図り、地域の宝を積極的に公開すること。	
有効性	普通		
費用対効果	普通		
成果	継続		

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	7,507	歴史文化資産を収蔵している施設や史跡や天然記念物などの文化財を適正に管理することで、貸出や閲覧および来訪者への環境整備を行う。 九谷磁器窯跡史跡公園の暫定開園、あいおすふれあい広場の開設に伴う委託管理費、法皇山収蔵庫の防水改修工事をはじめとした維持修繕に要する費用を増額する。
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

基本目標：加賀市に仕事をつくり、安定した雇用を創出する

施策：「観光戦略プラン」の推進

(単位：千円)

事業番号	主な事業	担当課	科目	
2	加賀温泉郷 湯めぐり・まち巡り 促進事業	観光交流課	一般会計 7-2-2（観光振興費）	
事業目的		取組状況		
<p>市内の主要観光交通手段である「周遊バス」に加え、「EV車」「自転車」等のレンタルと連動させた新たな周遊システムを構築し、温泉、歴史、伝統、文化、自然、食等に関する優れたスポットを巡ることのできる、新しい魅力的なプランを創出し、回遊性を向上させ、滞在時間延長による加賀温泉郷への誘客促進と市内観光消費額の増加を図る。</p>		<p>市内28か所に、EV自動車用の充電施設を整備した。市内3温泉地（山代温泉・山中温泉・片山津温泉）に超小型EVレンタカーを8台、EV普通乗用レンタカーを21台導入し、加賀温泉郷独自に乗り心地の改善や趣のあるデザインを施したレンタサイクル73台を導入した。市内周遊バス「キャンバス」やレンタカー、レンタサイクルのいずれかを選択し、市内の観光施設や温泉施設の利用、スイーツがセットのなった便利でお得な「ECO乗りクーポン」の企画販売を開始した。</p>		
事業費		総合戦略検討会議結果		
50,000		継続		
KPI	指標	目標値	目標年月	実績値
EVレンタカー・レンタサイクルの体制整備 (充電施設開設 超小型専用20か所・一般用高速1か所)	20か所 1か所	H28.3	28か所 0か所	<ul style="list-style-type: none"> 観光施策の推進にあたっては、観光客のニーズを把握するなどのマーケティングを実施すること 観光客にわかり易いように、観光マップには、観光ルートや所要時間の記載を検討すること 更なる観光誘客の増加に向け、リピーター数の把握や回遊性の測定を行うこと 4つの事業を関連させながら、「観光戦略プラン」の推進に取り組むこと
EVレンタカー・レンタサイクルの体制整備 (EVレンタカー導入30台・レンタサイクル導入50台)	30台 50台	H28.3	29台 73台	
EVレンタカー利用1日20台 レンタサイクル貸出数1日20台	20台/日 20台/日	H28.3	2.6台/日 0.3台/日	
「加賀温泉郷 湯めぐり・まち巡り パスポート」販売枚数	30枚/日	H28.3	43枚/日	
来訪者の滞在時間延長10%増 /観光消費額10%増	10% 10%	H28.3	1.3% 1%	

予算反

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	7,500	地方創生加速化交付金事業における平成27年度の「加賀温泉郷湯めぐりまち巡り促進事業」、同じく平成27年度から繰り越して平成28年度に展開中の「加賀温泉郷DMOによる地域観光イノベーション雇用創出促進事業」の回遊性向上に向けた取り組みを加賀市自主事業として継続させ、地域の魅力づくりと情報発信強化を一体的に進めながら、観光客の回遊性を更に高め、観光消費の拡充を図る。
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

基本目標： 加賀市に仕事をつくり、安定した雇用を創出する

施策： 就職・就労に結びつく雇用対策の推進

(単位：千円)

事業番号	主な事業	担当課	科目
3	産業人材育成支援事業	商工振興課	一般会計 7-1-2 (商工振興費)
事業目的		取組状況	
市内事業所の経営者及び従業員の能力向上などを 目指した取組を支援することで、人材育成を図り、 企業の安定・発展をもって地域産業の振興を図る。		市内事業所の経営者及びその従業員を対象に、産業人材 としての能力開発を目的としたセミナー、講習会(26回 開催・375人参加)などの開催を支援し、市内事業者の 経営力強化を図った。 加賀商工会議所に対し2,200千円、補助対象経費の2/3 を補助した。	
事業費		総合戦略検討会議結果	
2,200		継続	
KPI 指標	目標値	目標年月	実績値
なし			
			<ul style="list-style-type: none"> 女性の就労率の向上に向け、参加者数や参加事業所数を把握し進めること 雇用対策として、創業支援も推進すること

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	2,200	加賀商工会議所が実施する「産業人材育成事業」に対し、助成する。事業活動の基盤となる技能人材の技術力、機械オペレーション能力の向上につながる「技術・オペレーション能力強化研修」や、経営革新に向けた研修会の開催によって経営基盤の安定・強化を図り、地域産業の振興に繋げる。
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

基本目標： 加賀市への新しい人の流れをつくる

施策： 移住・定住・交流の促進

(単位：千円)

事業番号	主な事業	担当課	科目
4	移住住宅取得助成事業	建築課	一般会計 8-6-3 (住宅計画総務費)
事業目的		取組状況	
人口減少対策として、移住者に対して住宅取得の際に助成金を交付し、移住の促進を図る。 新築物件および中古物件の取得費の1/2以内、最大70万円までを助成。 子育て世帯、市内業者利用、修景緑化に対し、補助金を加算。		平成27年6月より補助金交付。 認定申請 29件 交付申請 19件 交付済額 19,193千円	
事業費		総合戦略検討会議結果	
19,193		継続	
KPI 指標	目標値	目標年月	実績値
市外在住者の移住に伴う新規住宅取得 (新築・中古物件)	20件	H28.3	20件
・転入出時のアンケート等を活用し、PDCAサイクルで施策を更に推進すること			

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	20,000	市外からの移住者を対象に、新築及び中古住宅（市空き家バンク登録物件に限る）の購入に伴う費用の助成を行う。 新築及び中古住宅の購入費の1/2以内、70万円を限度に助成。子育て世帯、市内業者利用、修景緑化に対し、助成額を加算する。 平成27年度の実績及び平成28年度の状況に基づき、1,000千円×20件を見込んでいる。
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

基本目標： 加賀市への新しい人の流れをつくる

施策： 移住・定住・交流の促進

(単位：千円)

事業番号	主な事業	担当課	科目
5	移住・交流フェア出展事業	地域づくり推進課 (人口減少対策室)	一般会計 2-1-8 (企画費)
事業目的		取組状況	
都市部から地方へ移住したい人をターゲットとした移住・交流フェアに出展し、加賀市のPR、移住相談、移住・定住促進策の紹介等を行うことで、加賀市への移住者獲得を図る。		平成28年1月17日に東京ビッグサイトで開催されたJOIN移住・交流&地域おこしフェアに出展した。 (来場者数 8,372人 加賀市への相談件数 17件・20名)	
事業費		総合戦略検討会議結果	
367		継続	
KPI 指標	目標値	目標年月	実績値
フェアにおける相談者数	20人	H28.3	20人
相談者の移住に対する意識変容	50%	H28.3	75%
該当するコメントなし			

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度事業概要	8,743	平成29年度は地方創生推進交付金事業における「加賀市定住促進事業」(8,583千円)の一部(約800千円)として実施。移住希望者に直接本市の魅力や仕事・生活情報を届けるために、大都市圏で開催される移住フェアに年間4回程度参加し、本市をPRする。国の交付金を活用できるため、民間事業者の知見を生かした委託事業として実施する。 移住フェアには、委託事業者のほか、市職員も参加し、連携してPR活動を行う。(旅費160千円)
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

基本目標：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

施策：結婚観の醸成と出会いの機会の創出

（単位：千円）

事業番号	主な事業	担当課	科目
6	婚活セミナー開催事業	地域づくり推進課 （人口減少対策室）	一般会計 2-1-8（企画費）
事業目的		取組状況	
結婚を希望する独身者を対象に、コミュニケーション、身だしなみ等「婚活力」を向上させるセミナーを開催する。		平成27年度（11月、12月、1月）に3回実施。 参加者 53名（男性26名、女性27名）	
事業費		総合戦略検討会議結果	
514		継続	
KPI 指標	目標値	目標年月	実績値
参加者の満足度	75%	H28.3	79%
参加者の結婚に対する意識変容	75%	H28.3	91%
・KPIは、セミナーに参加後、婚活イベントに参加した人数など、結婚に向けて次のステップに結びついた数値等を設定すること			

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	1,268	結婚を希望する独身者又は独身の子を持つ親を対象に、結婚アドバイザーやマナー・コミュニケーションアドバイザー、心理カウンセラーとして活躍するインストラクターを講師に迎え、結婚に向かっていく心構えや異性とのコミュニケーションのとり方、身だしなみ、マナー等の婚活ノウハウを学ぶ「婚活力」セミナーを実施する。 また、加賀市の将来を担う結婚前の若い世代を対象に、就労から結婚・妊娠・出産・子育てに至る各ステージに関わる知識・情報・市の制度などを学ぶ「次代の親世代」育成セミナーを実施する。
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

基本目標：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

施策：子どもを産み育てる環境のさらなる充実

（単位：千円）

事業番号	主な事業	担当課	科目
7	出産準備手当給付事業	健康課	一般会計 4-1-1（保健衛生総務費）
事業目的		取組状況	
<p>加賀市の将来を担う次世代の育成を推進するため、妊娠中の母親に出産準備手当を支給する。 対象者：加賀市住民で、平成27年度中に妊娠16週を迎える者、または、平成27年3月31日現在において妊娠17週以上の者</p>		<p>母子健康手帳交付数が平成26年度405件から平成27年度433件と増加した。出産準備手当給付金申請時に窓口で、保健師・栄養士との相談につなげ、子育て支援の機会にもなった。</p>	
事業費		総合戦略検討会議結果	
6,585		継続	
KPI 指標	目標値	目標年月	実績値
給付予定者	690人	H28.3	497人 (501胎)
<p>・ 出産数の増加に向け、本事業だけではなく様々な事業の関連させながら推進すること</p>			

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	4,234	<p>出産準備手当給付金申請時に窓口で、保健師・栄養士との相談につなげるだけでなく、他事業と連携し、子育て支援の効果的な取り組みを行う。 加賀市住民で、平成29年度中に妊娠16週を迎える者を対象とし、母子健康手帳交付見込件数420件の給付を見込む。</p>
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

基本目標：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

施策：魅力的で特色ある地域教育の推進

(単位：千円)

事業番号	主な事業	担当課	科目
8	ふるさと学習の充実	生涯学習課	一般会計 10-5-2 (生涯学習振興費)
事業目的		取組状況	
<p>市内の小学生が在学中に、市内50カ所の偉人ゆかりの場所や施設を訪れ、市に報告すると「ふるさと探検隊長」の称号と記念品を進呈している。</p> <p>この事業を通じ、ふるさとの歴史や文化に触れ理解を深め、ふるさとへの愛着と誇りを持つ心を育てる。また、親子と一緒に活動することで、ふるさと学習への更なる意欲や関心が高まり、心身のバランスのとれた健やかな子どもの成長を促進する。</p>		<p>市内の20小学校の児童全員に、「ふるさと探検マップ」と「ふるさと探検手帳」を配布し、平成28年10月末現在で102枚の探検手帳の提出があり、6名の「ふるさと探検隊長」が誕生した。</p> <p>「ふるさと探検隊長」(50点達成者) 6人 40点達成者 2人 30点達成者 5人 20点達成者 12人 10点達成者 41人</p>	
事業費		総合戦略検討会議結果	
381		継続	
KPI 指標	目標値	目標年月	実績値
なし			
			・客観的に事業評価できるように、KPI等を設定すること

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	127	<p>ふるさとマップに指定した市内の名所や施設を親子で訪れ、探検手帳に記録や感想を書いて提出し、10カ所ごとに認定書と記念品を進呈する。50カ所達成すると「ふるさと探検隊長」として称号と記念品を授与する。</p> <p>ふるさとマップの在庫があり、増刷の必要がないため事業費を減額する。</p>
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		

平成29年度当初予算編成過程の透明化シート（見える化シート）

基本目標：時代に見合った地域をつくり、安心な暮らしを支える

施策：人口減少・高齢化に対応した定住環境の整備

(単位：千円)

事業番号	主な事業	担当課	科目
9	「KAGAあんしんネット」の構築	企画課 (地域交通対策室)	一般会計 2-1-8 (企画費)
事業目的		取組状況	
幹線ネットワークとしての路線バスと、面的ネットワークとしての乗合タクシーを組み合わせた「KAGAあんしんネット」を構築し、公共交通空白地域の解消を図る。		平成27年4月からキャンパス動橋・橋立循環線（1日3便）の運行を開始し、平成27年10月から市内全域で乗合タクシーの実証運行を開始した。 平成27年度利用者数（キャンパス動橋・橋立循環線：1,771人、乗合タクシー：1,772人）	
事業費		総合戦略検討会議結果	
23,400		継続	
KPI 指標	目標値	目標年月	実績値
利用者数	20,000人	H28.3	3,483人
			・高齢者以外の利用者を増やすため、子どもを持つ若い人などに利用してもらえるような周知方法を検討すること

予算反映

	要求額	考え方
平成29年度 事業概要	102,903	幹線ネットワークとしての路線バスの維持と、面的ネットワークとしての乗合タクシーの運行により、地域住民の移動手段を確保する。KAGAあんしんネットをさらに発展させるため、地域公共交通網形成計画策定に向けた調査事業を実施するとともに、IoTを活用した乗合タクシーの運行管理システム、予約アプリの開発を行う。 路線バスの補助金は、補助金交付要綱を基に算出し、乗合タクシーは、平成28年度の運行実績を基に平成29年度に必要となる運行経費を算出し、目標とする利用者数から運賃収入を求め、算出している。
予算編成過程	査定額	考え方
財政担当 の調整		
最終予算案		